

## 平成29年飯田市議会第3回定例会一般質問通告表

平成29年9月13,14日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	吉 川 秋 利 (会派のぞみ) 【 40 分 】	<p>1 議会選出監査委員について</p> <p>(1) 地方自治法が改正されたが、地方自治体にとって地方自治法とはどのようなものか</p> <p>(2) 行政から見た議会選出監査委員のメリットは</p> <p>(3) 議員の立場での監査委員は不要と考えるがどうか</p> <p>2 コミュニティスクールについて</p> <p>(1) 小中連携・一貫教育については、どのように進展しているか、またどのような課題があるか</p> <p>(2) 小中連携・一貫教育とICT教育については、どのように連携していくのか、またICT教育の進捗状況は</p> <p>(3) このような教育方針と連携したコミュニティスクールの目指すものは</p>
2	竹 村 圭 史 (会派のぞみ) 【 40 分 】	<p>1 公共施設マネジメント基本方針における小中学校の建物維持の考え方について</p> <p>(1) 公共施設マネジメント基本方針における小中学校の建物維持の考え方は</p> <p style="padding-left: 2em;">① 建設以降30年を経過した校舎がほとんどの中で、旧耐震基準に該当する校舎については耐震化工事を実施してきたが、長寿命化を視野に入れた工事を実施したか。その場合、どのくらいの耐用年数の延命を考えたか</p> <p>(2) 従来の対応で浮き彫りとなった課題は何か。また、その要因をどのように考えているか</p> <p>(3) 今後予防保全の考え方を進めていくにあたり、課題となる点は何か</p> <p>(4) 市内28校の小中学校の校舎における屋根・外壁・給排水設備の状況はどのようになっているか</p> <p>(5) その中で、最優先に対応しなければならないものは何か</p> <p>(6) 学校現場からはトイレの洋式化を早期に望む声が上がっているが、給水設備と合わせ小中学校を対応するのにどのくらいの期間を要すると想定しているか</p> <p>(7) 今後の小中学校の建物維持をどのように考えていくか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	竹 村 圭 史 (会派のぞみ) 【 40 分 】	2 社会福祉施設の防火対策の推進について (1) 夜間の就寝を伴う施設の防火対策の把握状況は (2) 施設管理者の防火意識をどのように受け止めているか (3) 市民から、施設が安心・安全に利用できるかという問い合わせはあるか (4) 防火意識を更に向上させるための取り組みは何かが必要と考えるか (5) 市民の安心・安全のため、防火対策を推進している施設を情報発信することを考えてはどうか
3	原 和 世 (会派みらい) 【 50 分 】	1 政策決定に関わる庁議の議事録公開に関して (1) 庁議議事録公開の実情と課題について ① 市長は地方行政を進める上で、住民自治と知る権利及び情報公開についてどのように考えるか ② 市政経営の基本方針及び重要政策を協議し、また執行機関の総合調整を行う会議として飯田市庁議規程が有るが、どのように運用されているか ③ 今年度から庁議議事録公開を進めているようだが、その運用の基本的な考え方をどのように整理しているか ④ 市長はこれからの成熟した住民自治に向けて、政策決定プロセス公開のあり方をどのように考えるか 2 道路・河川の維持および改良における戦略的思考に関して (1) 市民生活の利便性と安全安心の地域づくりのための維持・補修に関する財政面から見た課題について ① 各地区から提出される地区要望に関して、市民要望件数と予算措置の推移、および事業の進め方はどのようなか ② 地区要望に対する予算措置について、財政課では部局別枠配分についてどのような観点で措置しているか ③ リニア新幹線に関連する道路等整備事業と在来の道路整備事業が予算上混同し、予算確保の中で在来の整備事業が進まない恐れはないか ④ 目的税である都市計画税の用途に関し、予算決算において明示することが必要ではないか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世 (会派みらい) 【 50 分 】	(2) 維持補修・除雪など市民生活に直結する事業に関し、建設事業者からみた課題について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 公共事業が減少する中、市内建設事業の実情はどうか</li> <li>② 今後の道路・河川整備事業に対する不安要素としてはどのように捉えているか</li> <li>③ 建設事業者の経営実態に関し市は現状把握しているか</li> <li>④ 事業者選定のための総合評価方式の導入と課題は</li> <li>⑤ 維持補修事業を維持していくための課題と方向性は</li> </ul>
4	岡 田 倫 英 (会派のぞみ) 【 50 分 】	1 地域防災を担う人材の育成について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 避難所を開設・運営する人材の育成をどのように進めるか               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自主防災リーダーの育成人数について目標を立ててはどうか</li> <li>② 「南信州いいむす21」の仕組みを応用して、飯田市独自のリーダー養成講習を計画してはどうか</li> </ul> </li> <li>(2) 子どもたちの防災教育をどのように進めるか               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 子どもたちの防災教育をメニュー化してはどうか</li> <li>② 教育委員会としてどのように対応するか</li> </ul> </li> </ul> 2 シードル振興について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 飯田市が「シードルのブランド力」を持つ上で、課題は何か               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 飯田市としてシードル特区(果実酒特区)の認定を受けてはどうか</li> <li>② 製造から販売・消費までの一貫した戦略は</li> </ul> </li> </ul> 3 リニア時代に向けた地域資源の活用について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 集団生活体験ができる地域資源を活用し、特色ある体験教育を推進してはどうか</li> <li>(2) 保存・活用のため一定の規範が必要と思うがどうか</li> <li>(3) 大平宿の保存継承・活用は               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 大平宿について伝統的建造物群保存地区、国指定有形文化財の指定を考えてはどうか</li> <li>② 大平憲章の精神に則った保存継承の考えは</li> </ul> </li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
5	木 下 徳 康 (会派のぞみ) 【 40 分 】	<p>1 災害時における受援体制、支援体制について</p> <p>(1) 災害相互応援協定について</p> <p>① 現在、協定している自治体、民間等の内容と数は</p> <p>② 通常時の協定している自治体、民間等との活動は</p> <p>③ 協定を相互のみでなく、グループ化して関係を密にする考えは</p> <p>④ 飯田市が必要とされる災害支援の可能性は</p> <p>(2) 市の受援体制は</p> <p>(3) 戸倉山東側尾根付近の林野火災について</p> <p>① 消火活動の経過は</p> <p>② 現地指揮本部とはどのような組織でおこなったか</p> <p>③ 消防防災航空隊と自衛隊のヘリコプターの消火能力の差に対する認識は</p> <p>④ 自衛隊の災害派遣を要請する判断基準は</p> <p>2 (仮称)天龍峡大橋に関して</p> <p>(1) (仮称)天龍峡大橋添架歩廊について</p> <p>① 設置に至った経緯は</p> <p>② 床窓を設置してはどうか</p>
6	福 澤 克 憲 (市民パワー) 【 40 分 】	<p>1 飯田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について</p> <p>(1) 第6期事業計画の進捗状況は</p> <p>① 地域包括ケアシステムの構築の状況は</p> <p>ア 介護予防と日常生活支援の総合的な進捗状況は</p> <p>イ 高齢者の住まいの安定対策は</p> <p>i 老人福祉施設(養護老人ホーム、軽費老人ホーム)、サービス付き高齢者向け住宅等の整備状況は</p> <p>ウ 地域で安心して暮らせる支援体制は</p> <p>i 地域包括支援センターの事業推進状況、相談件数は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福澤 克憲 (市民パワー) 【 40 分 】	<p>② 介護サービスの充実と質の確保対策は</p> <p>ア 介護保険施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設)の整備状況と床数は</p> <p>イ 地域密着型サービス施設の整備状況と結果は</p> <p>(2) 第7期事業計画策定に向けての方向性は</p> <p>① 計画策定のためのアンケート調査等から推測される今後の課題は</p> <p>② 介護職場の人材確保・育成は</p> <p>③ 公共サービスの今後の方向性は</p> <p>2 「飯田版！上質な子育て環境」づくりについて</p> <p>(1) 現在の取組状況は</p> <p>① 公立保育所で取り組む「信州やまほいく」の認定とは</p> <p>② 飯田市版「地域と連携した自然型保育」は、どのような保育を想定しているか</p> <p>(2) 今後の方向性は</p> <p>① 私立保育園・幼稚園・認定こども園等への展開は</p> <p>② 良質な保育を行うための施設整備は</p>
7	古川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	<p>1 飯田市の介護保険事業について</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)について</p> <p>① 昨年4月からの進捗状況はどうか</p> <p>(2) 介護職員の状況はどうか</p> <p>① 各事業所の介護職員の状況はどうか</p> <p>② 介護職員不足が懸念されるが、市はどう考えどう対応するか</p> <p>2 中学校の職場体験実施について</p> <p>(1) 実施状況はどうか</p> <p>(2) 自衛隊の体験状況はどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
8	湊 猛 (会派のぞみ) 【 40 分 】	<p>1 飯田市観光振興ビジョンについて</p> <p>(1) 新交通網を見据えた、観光振興ビジョン推進におけるロードマップの取り組みについて</p> <p>① 地域資源の魅力向上策の進め方は</p> <p>② 観光プログラム開発と受入れ態勢整備の状況は</p> <p>③ 情報発信と人材育成に関しての取り組み状況は</p> <p>④ 今後マネージメントする推進体制の構築とDMOの確立に向けた取り組みは</p> <p>(2) 飯田市の観光誘客推進について</p> <p>① まちなか誘客事業の取り組み状況は</p> <p>② 天龍峡活性化事業の取り組み状況は</p> <p>③ 遠山郷観光戦略プログラムの現状は</p>
9	小 林 真 一 (公明党) 【 40 分 】	<p>1 飯田市における健康寿命を延ばす方策について</p> <p>(1) 若年層への健康意識向上のための啓発について</p> <p>① 全体、世代別の特定健診受診率はどうか</p> <p>② がん検診の周知の状況は</p> <p>2 防災、災害時の対応について</p> <p>(1) 避難所の運営について</p> <p>① 女性、子どもへの配慮はどうか</p> <p>② 高齢者、障がい者への配慮はどうか</p> <p>③ 避難所のトイレの設置状況は</p> <p>④ 災害時の空き家活用は</p>
10	井 坪 隆 (会派みらい) 【 40 分 】	<p>1 リニアによるまちづくり戦略について</p> <p>(1) 「駅周辺整備」と、リニアを活かしたまちづくりの戦略とを、どう結びつけるか</p> <p>(2) 拠点集約連携型都市構造で位置付けている「中心拠点」に対する違和感を持つ意見があるが、市長はどう説明していくか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	井 坪 隆 (会派みらい) 【 40 分 】	<p>(3) 交流人口の拡大に資する施設整備として重要であるとしているコンベンションセンターは、まちづくりにおいてどのような位置付けと考えているか</p> <p>(4) リニアを「長野県の南の玄関口」とする一方、「メガリージョンの地下鉄」としているが、本市におけるまちづくりにおいては、どのように捉えているか</p> <p>(5) JR(グループ)に、地域振興への協力を求めることは考えられないか</p> <p>2 市長の考える、地域自治・地域運営組織の在り方について</p> <p>(1) 「飯田市の地域運営の取組みは、真の地方創生を成し得る全国のモデル」(市長の年頭所感)としているが、地域自治組織をも含めて、そのように言い切れるか</p> <p>(2) 新時代に向けた地域経営の仕組みにおいては、「コミュニティーの質の向上を図ることが大事」(市長の年頭所感)と述べているが、そのための市役所の役割、地域(住民)の役割をどう考えるか</p>
11	湯 澤 啓 次 (会派のぞみ) 【 40 分 】	<p>1 リニア関連事業に伴う代替地確保について</p> <p>(1) 「住民に寄り添う」との市長の方針と、影響を受ける市民の感じ方とのギャップをどのように埋め、信頼関係を構築するか</p> <p>(2) 代替地の3つの斡旋方法について</p> <p>① 用地買収時期に対する市の認識は</p> <p>② 代替地登録制度の登録状況、情報開示の進め方は</p> <p>③ 宅建業者との連携とは具体的に何か</p> <p>④ 新規造成・確保(市道新規建設)は買収時期に間に合うか</p> <p>ア 進捗状況、今後のスケジュール、提供時期は</p> <p>(3) 移転を余儀なくされる住民の立場で考え、市は責任を持ち代替地斡旋事業を最優先に進める覚悟は</p> <p>2 学童保育の抱える諸課題について</p> <p>(1) 児童センター、児童クラブなどの学童保育をどのように評価しているか</p> <p>(2) 学童保育の現状及び課題認識は</p> <p>① 閉所時間30分延長の実態は</p> <p>② 平成31年度定員970人体制に向け見えてきた課題は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	湯 澤 啓 次 (会派のぞみ) 【 40 分 】	(3) 課題克服に向けての市の考えは ① 有効な職員確保策は ② 運営委員会に任せ過ぎているとの意見もあるが、見直しは ③ 飯田コミュニティースクールとの連携は (4) 学童保育専門の部署を設置する考えは 3 全国的に注目を集める自然保育について (1) 自然保育に対する市の考えは (2) 県が進める「信州やまほいく」信州型自然保育認定制度への対応について ① 認定制度の概要及び市の対応は ② 期待される効果は ③ 普及推進に向けた具体的取り組み、今後のスケジュールは
12	清 水 優 一 郎 (会派のぞみ) 【 40 分 】	1 中山間地域の現状について (1) 人口や産業の現状は (2) 魅力や役割をどう捉えているか (3) 飯田市における中山間地域の将来像は 2 三遠南信道を生かした中山間地域の観光振興、地域振興について (1) 三遠南信道の概要は (2) 工事の進捗状況は (3) 各インターチェンジの周辺整備計画は (4) (仮称)天龍峡大橋の開通に伴う、天龍峡周辺の観光振興計画は (5) 中山間地域の振興と天龍峡周辺の観光振興のための拠点となる「道の駅」の整備はどうか



No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
13	永 井 一 英 ( 公 明 党 ) 【 40 分 】	<p>1 中小企業・小規模事業者への支援策について</p> <p>(1) 「2017年問題」と指摘される中小企業の事業承継が問題になっていると聞く。飯田市内の中小企業・小規模事業者の状況は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国は既に対策に乗り出していると聞く。どのようなものか。また、県や市の独自の取り組みは</li> <li>② 商工会議所の取り組みと行政との役割分担は</li> <li>③ 「ものづくりのまち」東京都墨田区が、全製造業への訪問面接調査を実施した上で、関係支援機関と連携し、企業のものづくり資産を承継する仕組みを作るなどのサポートを行っている。市はどう考えるか</li> </ul> <p>(2) 製造業における販路開拓への支援と行政の役割は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 海外展示商談会への出展に関する支援と成果は</li> <li>② 海外の企業から飯田市内の中小企業・小規模事業者へアプローチしてもらうことは考えられるか。また、行政の支援は</li> </ul> <p>(3) 国や県そして市が進めようとする様々な支援策を、一つひとつの中小企業・小規模事業者にまで周知する上での課題は何か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 中小企業・小規模事業者が、国や県が直接あるいは市や関係機関を通して実施する補助金・助成金制度その他の支援策を利用する場合の手続きは、ワンストップで行うことができるか</li> </ul>
14	山 崎 昌 伸 ( 会 派 の ぞ み ) 【 40 分 】	<p>1 「リニア・三遠南信道」の時代に向けて、この地域をどのように発信するか</p> <p>(1) ブランディングとシティプロモーションをどう加速化するか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「HIDAブランド推進課」が果たすべき役割は何か</li> <li>② 交流人口増加に向けての考え方は</li> </ul> <p>(2) シティプロモーションにおいて「信州ブランド」をどう活かすか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 海外も含め「信州ブランド」の浸透度をどう捉えているか</li> <li>② 「南信州ブランド」の浸透度はどうか</li> <li>③ 当地域の発信に「信州ブランド」を最大限に活かすべきと考えるがどうか</li> </ul> <p>(3) リニア開通後、JR飯田線をどう活かすか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① リニアとローカル線の対比をどう際立たせるか</li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
15	塚 平 一 成 (会派のぞみ) 【 40 分 】	<p>1 文化芸術のまちなみや史跡の利活用について</p> <p>(1) 人形劇文化の溢れるまちづくりについて</p> <p>① 「人形劇のまち」としての浸透度は</p> <p>ア かつて市長より「人形劇フェスタが『知る人ぞ知る祭典』の趣を呈してきた」という事であったが、その後の取り組みと経過は</p> <p>イ 来飯者より「日常のまちなみに人形劇文化を感じない」との意見が多いとみるが、どのように捉えるか</p> <p>ウ 2018年のAVIAMA総会及び世界人形劇フェスティバル開催を見据え、まちづくりへの課題としての取り組みは</p> <p>② 日常に人形劇文化がどう根付いているか</p> <p>ア 市内学校での人形劇をとおしての活動の現状は</p> <p>イ 人形劇関連施設の活用状況は</p> <p>ウ 人形劇のまちとして、フェスタをクライマックスとした年間の運営取り組みをどのように考えていくか</p> <p>(2) 飯田古墳群の文化的活用について</p> <p>① 地域文化資源としての位置づけは</p> <p>ア 国史跡指定を契機に古墳群の文化的位置づけをどのように考えているか</p> <p>イ 歴史上、学術上価値は高いが、市民に魅力を感じさせる仕掛けをどのように考えるか</p> <p>ウ 市外へ情報発信して来ていただく体制をどう考えるか</p> <p>② 各地区の古墳文化保存継承活動への協働体制は</p> <p>ア 宣伝材料・モデルコース作成等の各地区での取り組みをどのように把握し、協働体制をとっているか</p> <p>イ 古墳及び周辺空間の更なる整備体制が必要と考えるが、どのように捉えるか</p> <p>ウ 上記整備事業に対する各地区への支援体制をどのように考えているか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
16	木 下 容 子 (市民パワー) 【 40 分 】	<p>1 行財政改革の推進について</p> <p>(1) 飯田市行財政改革大綱における、平成28年度までの改革プランの実績はどうか</p> <p>① これまでの「行財政改革大綱」は平成28年度で一つの区切りを迎えたが、取り組みの成果はどうか</p> <p>(2) 新たな「飯田市行財政改革大綱」に基づく実行計画について</p> <p>① 行革の4つの柱とはどのようなものか。それをどう活かすか</p> <p>② 実行計画の目玉となる「1%戦略」をどう活かすか</p> <p>③ 公共施設マネジメントの推進について現在の取り組み状況は</p> <p>(3) 「飯田市公共施設マネジメント基本方針」について</p> <p>① 「公共施設マネジメント基本方針」の基本方針1の「長寿命化の推進」には、どのような方法で対応するか</p> <p>② 施設の予防保全のために、庁内で技師を活用しての、新たな専門部署を立ち上げる考えは</p> <p>③ 公共施設マネジメントの取り組みを市民に理解してもらうための方法は</p> <p>2 読書を支える市民の活動について</p> <p>(1) 読書活動を支える市民の活動は、どのようなものがあるか</p> <p>(2) 視覚障害者のための音訳活動については、どう捉えているか</p> <p>(3) 機器の購入や勉強会参加への補助は、考えられないか</p>
17	後 藤 莊 一 (日本共産党) 【 50 分 】	<p>1 ごみの減量化策について</p> <p>(1) 焼却施設の変更にともない、プラスチック製品などの一部が燃やすごみに移行したが、燃やすごみの増加につながらないか</p> <p>(2) 事業系のごみが全国的に増加の傾向だが、飯田市はどうか</p> <p>(3) 事業系含め、特に燃やすごみの減量化策は</p> <p>① 生ごみ処理に取り組んでいる自治体があるが、飯田市としても再度研究する考えはないか</p> <p>(4) 他市と比べ、ごみ袋の料金が高いと言われる。ごみの減量化に結びついていると思わないが、どうか</p> <p>(5) 2018年4月から焼却炉の排出ガスの水銀規制が開始されるようだが、市としての対応は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後 藤 莊 一 (日本共産党) 【 50 分 】	2 リニア中央新幹線について (1) リニア長野県駅周辺整備について ① 基本設計の開始はいつか ② 基本設計はどの段階まで設計するか ③ 事業費の概算見積もりを基本設計開始後すぐに示すべきだと考えるがどうか ④ 移転を余儀なくされる方への代替地確保の状況は ⑤ 様々な理由により、移転が困難な方にはどう対応するか (2) 地下走行区間について ① 井戸水等水資源の調査を行なっているようだが、状況は
18	新 井 信 一 郎 (会派のぞみ) 【 60 分 】	1 学校教育環境について (1) 長野県は、「学びの改革 基本構想(平成29年3月30日県教委定例会決定)」に基づき今後の方針から、飯田市で学ぶ者の将来について ① 「学びの改革」をどう受け止めるか (2) 小・中学校の「学びの改革」は、県同様に必要ではないか ① 「学びの改革」を必要としないか ア 社会激変への対応について イ 少子化への対応は ② 新たな学習方法について ③ 学びの質・環境の充実と改善について ④ 立地の特性を活かした学校づくり・再編について 2 産業振興と人材育成の拠点整備(旧知の拠点・旧飯田工業高校跡地利用)について (1) 南信州地域振興局(長野県)は、地域未来投資促進法に基づき、南信州の地域特性を活用する8分野を示したが、市として取り組みは ① 航空宇宙関連部品産業の集積(成長ものづくり分野)について ア 信州大学との連携状況は イ MRJ等、開発事業進行を不安視する声があるが、問題はないか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎 (会派のぞみ) 【 60 分 】	<p>② 飯田メディカル・バイオクラスターなど、メディカル・バイオ関連の知見について</p> <p>ア 国と県は、東京一極集中是正について地方への機能分散を計画し、飯田市に産業技術総合研究所(創薬)部門を示したが、動向は</p> <p>イ 産総研は、地域産業振興連携をしているが、市内企業との連携状況は</p> <p>ウ 私立新潟薬科大学(新潟市)が長野県内に「長野薬学部」を設置する計画があったが、当初の予定市では不可能との見解が示されたが、その受け皿に飯田市はなれないか</p> <p>③ 南信州の気候、地理的特性などの自然環境や、豊富な日射量や森林資源など特徴ある自然環境について</p> <p>ア 現状は</p> <p>イ 財産区や個人山の多くが一部を除いて運営・運用が厳しいが、対応策はあるか</p> <p>ウ ツリークライミングや新たな森林活用に、リニア時代を見据えた世界規模のフォレストパーク等の整備は考えられないか</p> <p>3 農業・農地等について</p> <p>(1) 農地バンクの利用状況は</p> <p>① 新規就農者、認定農業者(人・農地プラン)への対応は</p> <p>② 情報の共有化はどうか</p> <p>(2) 農地等であった場所に、太陽光パネルが敷設されるケースが目につくようになってきた</p> <p>① 農地・農作地や林野等から、太陽光パネル設置に移行された箇所・面積はどのくらいあるのか</p> <p>② 土地の有効活用や、自然エネルギーの利活用は非常に大切なことであるが、その一方で、河岸段丘の美しい飯田の、農ある風景にそぐわないとの意見もある。市としての今後の方向性は</p> <p>4 リニア中央新幹線長野県駅を中心とした整備事業について</p> <p>(1) リニア周辺整備デザイン会議に、学識者として、東京芸術大学美術学部建築科北川原教授を迎え入れた意図は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎 (会派のぞみ) 【 60 分 】	<p>(2) これまで飯田市の中心市街地再生整備には、デベロッパーや大手ゼネコンに頼ることなく、住民と市役所が一体となって小規模開発を連鎖させ地方都市再生のモデル(飯田方式)としてこれまでは事業化してきた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① リニア駅を含め、その手法を活かすか</li> <li>② 市長は、飯田版ダボス会議が開催できる世界都市飯田をイメージしているか</li> <li>③ 「飯田らしさ」と駅機能の世界へのポテンシャル発揮の必要性をどう考えるか</li> <li>④ 世界を知り尽くしたデベロッパーやゼネコンの意見を聞いてはどうか</li> <li>⑤ 北海道ニセコ町は、外国人資本家や外国人とのパートナーシップが功を奏し、ブランディングやシティープロモーションが成功している。「小さな世界都市」を標榜する飯田市としての今後の取り組みは</li> </ul>